



# 2月園だより

令和6年2月1日発行 川村学園女子大学附属保育園

暦の上では春を迎える頃ですが、実際には寒さが厳しさを増す今月です。このような中、希望に満ちて新年を迎えたであろう元旦に被災した能登地域の皆さんが、雪降る寒さの中でご苦労の多い避難生活を続けているかと思うと心が痛みます。心からお見舞い申し上げます次第です。

併せて、今回の災害を教訓に、園の防災・危機管理について再考する機会となりました。幸い当園は大学と隣接しており協力体制を図れる状況にはありますし、緊急時の備えとして安全計画や業務継続計画などを作成し、備蓄品の保管や毎月の避難訓練など実施してはいますが、今一度初期対応の在り方など職員間で意識を高めたいと思います。保護者の皆様におかれましても、災害時の送迎などの対応について『園のしおり』に記載しておりますので、ご確認ください。

この寒さで毎朝お布団から抜け出すのがひと苦勞という人（子）も多いのではないのでしょうか。すっきり目覚めて一日を気分爽快に過ごすためにも、乳幼児は10時間以上（大人は7時間程度）の睡眠が必要のようです。昔から『寝る子は育つ』と言われるますが、これは本当のお話し。しっかり睡眠時間を確保することで脳が活性化し働きがよくなること。夜8：30～9：00頃までには寝て、朝は陽の光をたっぷり浴びて目覚めるという子どもの生活ペースの習慣づけが賢い子を育てるコツのようですよ。

先月クラスごとに変更して実施した乳児組の生活発表会は、多くの皆さんからありがたいコメントを頂き、今後につながる活動となりました。今月は、幼児組の発表が続きます。お家の人に見せたい！見てもらいたい！という思いを広げつつ、ゆり・ばら・ひまわり組の活動が広がっています。限られた時間の中ですが、ゆっくりとお子様の成長を感じていただきたく存じます。

園長 山崎久江

## 保育目標

テーマ 寒さに負けず元気に遊ぶ

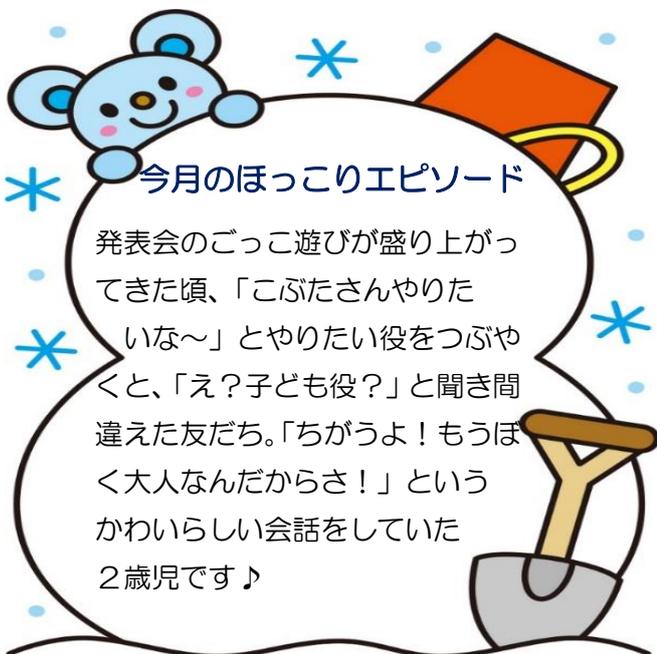
乳児 気候に留意し元気に戸外遊びを楽しむ。

幼児 冬の自然の変化や、身近な自然現象に気づき、興味や関心を持つ。



今月のうた

- ・豆まき
- ・ゆきやこんこ



## 今月のほっこりエピソード

発表会のごっこ遊びが盛り上がってきた頃、「こぶたさんやりたいな～」とやりたい役をつぶやくと、「え？子ども役？」と聞き間違えた友だち。「ちがうよ！もうほく大人なんだからさ！」というかわいらしい会話をしていた2歳児です♪

## 「ある日の新聞」リムから

カメラを置いてよく見てみよう

中学校教員 高橋 彩 (山口県 39)

保育園に通う子どもたちの発表会が終わった。小さな体を思いっきり使ってダンスする懸命な姿を見て、喜びと感謝でいっぱいになった。

しかし、この可愛らしい姿をスマホに残さねば、ビデオカメラも回さねばと、私は忙しかった。「もっと笑って！こっちを向いて！」

操作するうちに演目が終わってしまい、ふと考えた。「今日私は何を撮っていた？ほんものを見ていたのか？」

「ろっか」。きっと今日だけじゃない。一緒に公園で遊ぶとき、庭の紅葉に感動するとき……。「お母さん、スマホを置いて一緒に見よう」と言われたような気がした。

30年前、旅先で写真はかり撮っていた私に父が言った言葉が忘れられない。「そのカメラを置いて、よく見てごらん。心のカメラでも撮るんだよ」。今日はスマホを置いて、目の前の子どもたちと思いっきり遊ぼう。あなたたちの笑顔を、心のカメラでもたくさん撮るからね。

## 発表会を終えて…



毎日のように楽しんでいた遊びをいざ保護者と一緒に！そうすると、面白さは二倍どころか三倍四倍に。おおきなかぶごっこでは、子どもたちに代わってパパママという救世主登場。無事におおきなかぶを抜くことができました。スポーツデイでは、チーム戦にしたので、予想以上に白熱！！たくさんの笑顔があふれ、保護者の方の子どもたちを見守る目がとてもあたたかく、とても嬉しかったです。



ちゅうりっぷ組  
(0歳児)

いつもと違う雰囲気、緊張したり泣いてしまったりする姿もありましたが、園で普段子どもたちがしている遊びを、保護者の方と一緒に楽しむことができ、みんなとても良い笑顔が見られていました。発表会後も絵本「てぶくろ」の動物たちになりきって「いーれーて！」「いーいーよ！」「だーめーよ?!」言葉のやりとりやぎゅうぎゅうになって、てぶくろに入っては「あったかいねえ」と楽しんでいる姿がみられています。これからも「てぶくろごっこあそび」楽しんでいきたいと思います♪



たんぽぽ組  
(1歳児)

お家の人に来ることを楽しみにしていた子どもたちも、当日は甘えたい気持ちや緊張した様子が見られました。しかし、日々3びきのこぶたごっこなどの遊びを楽しんでいたため、遊戯室に入ってからはずっとお楽しみ姿をお見せできよかったです。子どもたちの成長を強く実感したひとときを保護者の方と共有でき、とても嬉しい日でした。手拍子や拍手、ふれあい遊びなど、あたたかく見守り協力していただきありがとうございました。



さくら組  
(2歳児)

## 発表会に向けて…



11月頃、子どもたちから「トルルだぞー！」「おねがい、たべないで～！」「めえ～めえ～」と楽しみな声が聞こえました。学生がお楽しみ会で劇を披露してくれたり、クラスで楽しんでいた絵本から、「3びきのやぎのがらがらどんごっこ」が始まりました。ごっこ遊びを楽しんでいるうちに、「こんな時、何て言ったらいいかな？」「この時トルルはどんな気持ちだったんだろう？」とみんなで一緒に考えるようになりました。これまで友だちとたくさん喧嘩をしながらも一緒に過ごしてきたゆり組ならではの、思いやりある優しい結末に注目です。大好きなお家の人前で、ちょっぴりドキドキの子どもたちだと思いますが、あたたかく見守ってくださいね。当日はお家の人と一緒に楽しみましょう！



ゆり組  
(3歳児)

「おむすびころりんすっとんとん♪」のフレーズを友だち同士で口ずさんだり、エプロンシアターを楽しむ子どもたち。「おむすびころりんごっこやりた～い！」と劇遊びが始まりました。歌に、踊りにセリフと子どもたちが考えています。「お父さん、お母さんに見てもらいたい！」という思いから発表会で披露することになりました！子どもたちの可愛い姿を見ながら一緒に歌って楽しんでください。また、この一年を通して一人ひとりの得意なこと、好きなことを繰り返し取り組むことで、できるようになったこと、成長につながっている姿を是非ご覧くださいね☆



ばら組  
(4歳児)

今まで年長さんが劇をやっていたのを見ていたので、発表会でやりたいことを聞くと「劇をやってみたい！」と声が上がりました。そこから、みんなが気に入っていた十二支のお話を選び、配役も子どもたちの希望で決まりました。役になりきる様子などは個性が出ていて楽しく、一方で他のクラスの前で発表する時は張り切っていてかっこよくもあります。「お家の人に見てもらいたい」という思いがとても大きくなっているひまわりさん。友だちと劇あそび、楽器あそび、歌を通して表現することを楽しみ、意見を出し合いながら仲を深めています。園生活最後の発表会、皆さんで子どもたちの成長を感じていただければ嬉しいです。



ひまわり組  
(5歳児)